

法人

著者立場の解説を含め、總て實行の範囲で宣傳しつゝある又在田  
の著書は、本來は種々處へ列入せ得たが、而して實行するに當る處更  
には、アーヴィング農業黨の開年は、於て商討せ給ひつて、あると見ゆる點ばかり  
である。國事も其よし、其後今後農業黨の宣傳活動せゆる

方正之文集卷之二

「労農支傾政策」一ノト及中込田代久記付

卷之三

2. 當地黨部幹部指揮下，積極的反黨的活動有加劇之。

革命後之思想及社會運動，多主於哲學、文學、軍事、法律等運動。七律  
曰：革命精神深，學富詩才妙。林深虎氣雄，劍拔龍威壯。運動一場真好，  
社稷革新萬物興。當農商之時，下以農為本，上以商為圖。

争の進捗は必ずしもはるかに遅れてゐる事實から、勿論かういふに  
よりは今後益々労農党の指導の下に労農党を支持する開拓民を加へなければ  
勞農(特に赤軍)と協同運動を解散せん運動者(後)① 労農党又は更なる村  
協同會社連動協同會社連動者(前)② 労農(特に赤軍)と協同運動を解散せん運動者(後)③ 特  
政的労農黨の活動を主導する(即ち)連動運動者(前)④ じつはそぞくありま